



カリオン

Red Cross Society Himeji School Of Nursing | carillon



Vol.
46
2022.5

TOPIC

学校長挨拶

日本のナイチンゲール



学校長 岡田 裕之

今年度から学校長に就任しました。隣の姫路赤十字病院院長との兼任です。前職は岡山大学病院で専門は消化器内科、特に食道・胃・腸疾患です。内視鏡を使った診断や早期癌の治療、ヘリコバクター・ピロリ感染の研究などを行ってきました。出身は姫路市です。学校では坂本副学校長はじめ先生方、スタッフの皆さんと共に学生の皆さんが楽しく充実した学生生活を送り、立派な看護師に育つように努めていきます。よろしくお願い申し上げます。

さて、看護師を目指す人はみんなクリミア戦争で傷病兵たちの救護にあつた英国のフローレンス・ナイチンゲールのことはよくご存じだと思います。では、「日本のナイチンゲール」と称されている二人の方のことはご存じでしょうか。

ひとりとは新島八重(1845年~1932年)です。綾瀬はるかさんが主演で2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」でも取り上げられましたからご存じの方も多いと思います。

江戸時代末期に会津藩士の娘として生まれ、薩摩藩・長州藩を中心とした新政府軍との戊辰戦争では会津藩の一員として髪を切って男装で参戦し、「幕末のジャンヌ・ダルク」とも呼ばれている人です。会津城内での治療看護活動は後世の日本の看護制度の先駆けとも言われています。のちに同志社を設立した新島襄と結婚、死別後は、明治26年(1893年)日赤篤志看護婦人会が設立されると、いち早く会員として参加し、翌年の日清戦争(1894年)では篤志看護婦として現地で傷病兵の看護に従事しました。ボランティアナースなので無償の奉仕です。日露戦争(1904年)でも国内から救護活動を指揮しています。八重の生涯にわたる社会福祉活動を称えて「日本のナイチンゲール」と呼ばれることもあります。

もう一人は瓜生岩子(1829年~1897年)です。福島県の油商人の娘として生まれ、夫の死後、戊辰戦争では傷ついた兵士や子供を敵味方の区別なく救助、看護し会津藩側からは「敵軍を看護している」、新政府軍側からは「誰の許可を得たのか」と敵味方から非難を受けながらも強い意志で献身的な活動を行い、「けがの手当てをするのに誰の許可もいませぬ」「けがをした者は皆同じ、国のために戦っているのです」と話したそうです。明治天皇の皇后さまにもその行動が伝わり後に面会することになったようです。戊辰戦争後も会津藩士の子供たちのために私費を投じて教育を行うなど本格的な慈善事業を始め、貧民孤児のために福島教育所を開設したりして貧民救済に取り組み、今日の日本の社会福祉の礎を築いたとされています。新島八重の活動も同じ会津地方出身の瓜生岩子の影響があったと言われています。

皆さんが将来的に戦地に赴くなど危険にさらされるようなことはありませんが、先人たちの歩んだ道をたどることは赤十字の基本理念である「人道」について理解を深め、モチベーションを高めるためにも有用ではないかと思います。



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

日本赤十字社は、赤十字の理念である「人道」を基盤とし、いかなる状況下でも人々の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保するため、国内外でさまざまな活動を展開している。看護実践においては、人々の生活の質向上のために、倫理観に基づき、多職種との協働の中で、専門性と自律性を発揮することが求められている。

本校は、この赤十字の理念を基盤とし、人々が生きることを支えるために、自ら学び、看護を創造する豊かな人間性を備えた看護実践者の育成を目指す。

学校長退任の挨拶



前学校長 佐藤 四三

令和4年3月31日をもって9年間努めた学校長を退任しました。姫路赤十字看護専門学校には赤十字ならではのカリキュラムがあります。赤十字の基本理念を学び、これを看護の実践で活かし、社会で活躍されている卒業生をたくさん送り出すことができましたこと、学校長として喜びでした。日本は少子高齢社会に突入し、また新型コロナウイルス感染症を経験し、これからの医療は想像すらできないものに変化します。しかし赤十字精神に基づいた「患者に寄り添う」看護の実践は崇高なものです。未来にわたって変わるものではありません。素晴らしいことを学ばせて頂きました。ありがとうございました。

姫路赤十字看護専門学校が学びの場としてますますの発展を祈念します。

事務部長挨拶



事務部長 木下 信和

今、当院のような比較的大きな急性期病院で必要とされる人材は、「チーム医療」が実践できる人です。というのも、ひと昔前の所謂「医師中心の医療」から、現在は患者さんを中心として医師を含む様々な専門職種がチームを組んで治療にあたる「チーム医療」が主流だからです。そしてチーム医療に必要なのは「他者との関わり方」「コミュニケーション力」です。

皆さん、今はまだ看護師としての専門技術を身に着けるのに精一杯だと思いますが、ある程度自由時間のある学生のうちに、視野を広げるため学校の外にも目を向けて下さい。そして、学校の外での他者との関わり方、コミュニケーションを大事に、焦らず勉学に励んで下さい。

事務部長退任の挨拶



前事務部長 安田 善彦

長い歴史を有し、多くの優秀な看護師を輩出した本校に勤務できたことを大変うれしく思います。大学を出て40年になりますが、教育に携わるのは初めてで、その重要性和やりがいを感じながら日々、業務を行ってきました。本校を取り巻く状況は厳しいものがありますが、卒業生(同窓会)・在校生・教職員の皆さんそれぞれのお立場で学校の魅力アップに取り組んでいただき、存在意義をさらに高めていただくことをお願いし、期待いたします。3年間、ありがとうございました。

教職員紹介



2列目 藤元由起子 菊本牧子 八幡宏美 藤田美佐子 小野真弓 森下裕子 木本菜見子
1列目 中林朝香 坂本佳代子(副学校長) 山田道代(教務主任) 齊藤千晶 石原知代子 石谷尚美 神戸真由美

新入職員紹介



4月に姫路赤十字病院より異動してきました。慣れない学校生活に戸惑いも感じているのですが、看護の道を志した頃を思い出し、初心に立ち返り改めて看護のすばらしさを身に染みて感じています。看護には無限の力があると臨床で働きながら感じていました。看護学校では、学生一人一人に無限の可能性があると思います。未来の素敵な看護に繋がられるよう看護を語り、学生と共に学び成長できるよう日々頑張りたいと思います。

専任教師
石原 知代子



4月に姫路赤十字病院から異動してきました。看護師になり臨床を経験する中で、看護の奥深さをひしひしと感じてきました。対象者に行われる看護には、ひとつとして同じものはないと思っています。看護の奥深さを、学生に気づいてもらえるよう関わっていきたくと思っています。そして学生との関わりを通して、私自身も学びを深め、共に成長していきたくと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。

専任教師
齊藤 千晶

異動した職員から一言



平成13年から21年間、看護学校で勤務させて頂きました。卒業して何年か経ってから、「あの時先生に背中を押してもらった」「いい看護師になるよと言ってきて嬉しかった」と声をかけてくれます。初めてアドバイザーをした学生たちが、看護係長や専任教師、認定看護師になっています。人の成長に関わるということは自分自身が学び成長しなければいけません。学生の気持ち分らずしんどいなと思ったこともありましたが、成長していく姿を目の当たりにできることは、本当に幸せでした。ありがとうございました。

看護部 看護師長
松井 里美

令和3年度 卒業式

令和4年3月4日(金)



卒業生代表 答辞



第111回 看護師国家試験 全員合格

令和4年3月25日(金)



第124回生 入学式

令和4年4月5日(火)



新入生代表 宣誓



行事予定(令和4年4月~9月)

- 4月** 5日(火) 入学式
8日(金) 新入生歓迎会
18日(月) 学校関係者評価会議
29日(金)~5月5日(木) 保健週間
- 5月** 12日(木) ナイチンゲール祭
29日(日) オープンキャンパス
- 6月** 2日(木)~17日(金) クラスⅡ 成人看護学実習Ⅰ
13日(月) 講師会議
20日(月)~24日(金) クラスⅠ 基礎看護学実習Ⅰ
25日(土) ホームカミングデー
- 7月** 1日(金) クラスⅡ 本社研修 動画配信
25日(月)~8月25日(木) 全クラス夏季休業
30日(土)・31日(日) } オープンキャンパス
- 8月** 1日(月)・2日(火)
29日(月) クラスⅢ ケースレポート発表
- 9月** 12日(月)~28日(水) 前期期末試験



令和4年度 オープンキャンパスを開催します!

詳細・参加申し込みはホームページをご覧ください。
<https://himeji.jrc.or.jp/school/>



編集後記

新年度がスタートした。1年生をむかえ、学校は新鮮な雰囲気にも包まれている。2・3年生が先輩として、1年生に学校生活のことを優しく丁寧に教えている。そんな姿を見ると、頼もしく思うのと同時に、1年間の成長を実感する。学生の成長は無限だ。先輩後輩との縦のつながりと、クラスメイトとの横のつながりを大切に、1年後、それぞれが大きく成長してくれることを楽しみにしている。
(専任教師:神戸 真由美)

※本誌に掲載している写真は撮影時のみマスクを外しています